

「Spritzer Shah Alam」

訪問日時：8月20日

移動手段：貸切バス

訪問場所：スピリッツァー製造工場

・Spritzer Shah Alam

8月20日、午前中に筆者はSpritzer（スピリッツァー）製造工場を訪れた。Spritzer社はマレーシアで最大のボトル入りミネラル水のメーカーだ。まず、筆者は工場内の会議室に招待されSpritzer社の方々からSpritzer社の説明を聞かせていただいた。その時に驚いた事を一つ述べる。それは、Spritzerの飲料水にはハラール登録がしてあるということだ。そもそもハラールとはイスラム法で許された項目の事をいい主にイスラム法上で食べられる物のことを表す。イスラム法の下では豚肉を食べることは禁じられているが、その他の食品でも加工や調理に関して一定の作法が要求される。この作法が遵守された食品がハラールとされる。しかし、Spritzer社の飲料水は飲み物であるし加工段階で豚肉が使われることなんて絶対にあり得ないが、それでもなぜハラール登録がしてあるのか。その理由は、ハラール登録というものはマレーシアでは大変価値のあるもので信用につながるということだ。そもそもハラール登録をすること自体大変困難なものであり、それを登録しているSpritzer社は大変信用度が高いことを示している。



(Spritzer 製造工場の入り口)

次に、筆者はSpritzer製造工場の見学をさせてもらった。工場内はヘッドキャップをして、髪の毛が落ちないようにカバーするようと言われたので、厳戒態勢で入った。工場の中で様々な音が行き交う中、社員の方から製造過程を説明してもらった。Spritzer社はミネラルウォーターとドリンキングウォーターを製造しているが、ミネ

ラルウォーターは地下約 120 メートルから水をくみ上げ加工せずに製造を行っていて、いわゆる天然水である。一方、ドリンキングウォーターは川の水を RO 膜という逆浸透技術を使って不純物を取り除いて製造している。どちらも味はそうそう変わらないが、やはりミネラルウォーターのほうがミネラル分を比べるとドリンキングウォーターよりも高い。また、ミネラルウォーターとドリンキングウォーターとの区別はキャップの色で区別する。この工場では一時間に 40000 リッターもの水を生産している。



(Spritzer 社の水の種類)

最後に、筆者が Spritzer 社で感じたことをまとめようと思う。正直、マレーシアは水不足で綺麗な水の原水さえ無いものだと思っていたが、Spritzer 社のミネラルウォーターを取水する所は先ほどのべた通りわずか地下 120 メートルであり、原水のまま販売している。だから、マレーシアにも安全で綺麗な水があるということに驚いた。また、スピリッツァー社の工場の技術はかなり高度なもので日本の技術とあまり変わらないらしく、マレーシアの技術の発展にはすごいと思ったし関心も抱いた。生物が必ず必要とする水は大変貴重で大切なものであり、特に近年の急激な人口増加で水不足が懸念されるマレーシアで、Spritzer 社は人と水とを繋ぐ潤滑油になっているのではないかと思う。



(Spritzer 社前で撮った全体集合写真)

[タグ]

ミネラルウォーター、ドリンキングウォーター、マレーシア、逆浸透、Spritzer

